

理工系の先輩に会いに行こう

- ・日 時：平成23年8月9日(火) 8:40～15:10
- ・会 場：サンデンフォレスト(前橋市粕川町)
- ・内 容：女性技術者による講演と企業見学
- ・参加者：沼田女子高校の生徒 21人



女性技術者による講演

女性の再就職支援セミナー

- ・日 時：平成23年11月17日(木) 10:00～12:40
- ・会 場：ぐんま男女共同参画センター(前橋市大手町)
- ・演題/講師
 - 「再就職のためのビジネスマナー」 清水由美氏(企業研修講師)
 - 「自分の持ち味を知る・応募書類はこう作る」 飯塚俊男氏(キャリアコンサルタント)
- ・参加者：再就職を希望し準備している女性 26人

(11) 父親の子育て支援事業(ぐんま男女共同参画センター)

男性の子育てへの参加や仕事と子育ての両立を推進することを目的に以下の事業を実施しました。

イクメン講演会！ 父親が変われば、社会が変わる

～ファザーリングのすすめ～

- ・日 時：平成24年2月12日(日)
- ・会 場：ぐんま男女共同参画センター(前橋市大手町)
- ・講 師：安藤哲也氏(NPO法人ファザーリングジャパン代表)
- ・参加者：小学校6年生以下の子どもを子育て中の父親及び夫婦72人



安藤哲也氏

父と子の料理教室「ピザを作ろう」

- ・日 時：平成23年7月 2日(土)(第1回)
平成24年1月28日(土)(第2回)
- ・会 場：東日本栄養医薬専門学校(前橋市小屋原町)
- ・講 師：阿部晴子氏(東日本栄養医薬専門学校 管理栄養士)
- ・参加者：小学生とその父親 16組36人(第1回)
15組31人(第2回)



父と子の料理教室

(12) 調査事業～男女共同参画データブック(ぐんま男女共同参画センター)

男女間における意識の偏り、格差や差別の現状などの把握を目的として、センター利用団体である「性別の社会科学ARG」との協働作業により、「男女共同参画データブック」を作成しました。

このデータブックでは、群馬県の政策・方針決定過程への女性の参画や、就業分野における男女協働参画など、9つの分野における統計データを男女共同参画の視点から収集しています。

(13) 12市との情報交換会(ぐんま男女共同参画センター)

男女共同参画に関する情報の共有を主な目的として、県内12市との情報交換会を開催しました。

- ・日 時：平成23年6月28日(火)、平成24年3月2日(金)(計2回)

- ・会場：ぐんま男女共同参画センター（前橋市大手町）
- ・参加者：12市の男女共同参画担当者ほか

（14）情報発信（ぐんま男女共同参画センター）

「ぐんま男女共同参画センターセンター通信」の発行

センター主催の講演会、セミナーの募集案内や開催結果等を紹介する広報誌を作成・発行しました。

- ・発行：年6回、各800部（A4版、4ページ、オールカラー）

エフエム群馬におけるスポットCM放送

男女共同参画の啓発スポットCMを、エフエム群馬において、年間を通じて放送しました。

- ・期間：平成23年5月1日～平成24年3月31日
- ・回数：60本（6種類×10回 各20秒）

（15）貸室事業（ぐんま男女共同参画センター）

男女共同参画社会づくりに向けた活動を行う団体等に活動の場を提供しました。

- ・利用状況 団体数：551 人数：18,278人

（16）日常生活自立支援事業（健康福祉課）

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などで判断能力が不十分な方が、安心して自立した地域生活をおくれるよう、福祉サービスの利用援助や、日常的な金銭管理、書類などの預かりサービス等を行います。

事業の利用にあたっては、専門員や生活支援員が定期的に訪問し、サポートします。

- ・利用料 1時間当たり 800円
（ただし、住民税非課税世帯は、300円。生活保護世帯は無料）
- ・平成23年度の契約件数 215件
（認知症高齢者151、知的障害者26、精神障害者38）
- ・平成23年度の相談件数 27,252件

（17）周産期医療対策（保健予防課）

危険度の高い妊婦や新生児に対し高度な医療を提供する医療機関である周産期母子医療センターへの運営費補助事業のほか、一般産科医療機関、助産所を含めた関係医療機関間の連携を図るための周産期医療情報システムの運営を実施しました。また、低出生体重児などハイリスク新生児の安全な病院間搬送を確保するため整備した新生児搬送用保育器(県下10台)の運用管理の実施、早期新生児死亡事例を減少させることを目的とした医療従事者対象の新生児蘇生法研修会の開催（3回開催、67名受講）、周産期医療に関する調査などを行いました。

その他、NICU（新生児集中治療管理室）等へ長期に入院していた児等を退院後、医療機関で一時的に受け入れられる体制の整備として、「在宅医療未熟児等一時受入」事業を、小児医療センターの協力の下、平成23年度から開始しました。

(18) 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業（保健予防課）

子宮頸がん等（ヒブ、小児用肺炎球菌）予防ワクチンの接種を希望する県民の経済的負担の軽減のため、市町村が実施するこれらのワクチン接種公費助成事業について、国の交付金を原資として群馬県子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進基金を設置し、補助金を交付しました。

- ・補助金交付先市町村数：35市町村
- ・負担割合：基金1/2、市町村1/2

(19) 放課後児童クラブの推進（子育て支援課）

放課後児童クラブ（学童保育）では、小学校に就学している児童（主に概ね10歳未満）で、その保護者が就労等により昼間家庭にいない場合、授業終了後等に小学校の余裕教室や児童館等の施設を利用して適切な遊びと生活の場を与え、その健全な育成を図っています。

県では事業実施主体である市町村に対して、運営費と施設整備費の補助を行っています。国の補助金基準額に合わせ、県も補助基準額を増額するとともに、県の単独補助として、小規模クラブ等に対する補助や国庫補助金の上乗せも行っています。

この結果、前年度比で10か所増え、23年度は30市町村で401か所となりました（中核市含む）。

(20) 女性農業者活動支援事業（技術支援課）

農業・農村における男女共同参画の推進と、その中心となって活動する地域リーダーを育成するため、女性の社会参画と農業・農村の活性化をテーマとした研修会を開催しました。

- ・名称：農村女性研修会
- ・期 日：平成23年7月8日（金）
- ・主 催：中部農業事務所伊勢崎地区農業指導センター
- ・会 場：JA佐波伊勢崎本店
- ・内 容：【講 演】「思いは必ずかなう 50代からの挑戦」
講師(株)わびすけ 代表取締役社長 山田順子氏
【事例発表】「農業のやりがい みんなに伝えたい」
【事例発表】「女性組織と食農教育『食』の提案～健康な身体で日本を元気に！！」

- ・参集者：佐波伊勢崎農村女性会議、市農業委員会、
農業団体関係者、県及び市等

なお、本講演会のほか技術支援課及び各地区農業事務所において農業・農村における女性の経営参画、社会参画の促進に向け、啓発研修、能力向上研修等を実施しました。



山田順子氏

(21) 群馬県育児いきいき参加企業認定事業（労働政策課）

育児休業制度の充実・利用促進を図り、働きやすい職場環境づくりを推進する県内中小企業（従業員数300人以下）を「群馬県育児いきいき参加企業」として認定。認定企業に対しては、認定証を交付

し、認定企業での取組を県のホームページで紹介し、企業イメージのアップを図るなど様々な支援を行いました。(平成23年度末現在認定企業数：789社)

- ・認定基準：育児休業制度の充実・利用促進の取組及び働きやすい職場環境づくりを進める取組を宣言すること。ほか
- ・支援：県のHP等に取り組を紹介することによる企業のイメージアップ支援
企業活動活性化のための制度融資（優遇金利の設定）
従業員の意識啓発のための情報提供
- ・表彰ほか：認定企業のうち特に積極的に両立支援を行っている企業を表彰するとともに、優良取組企業事例集を作成、配布
- ・冊子作成：育児いきいき参加認定企業等における仕事と家庭の両立を更に進めるため、「両立支援ハンドブック 働くパパ、ママ応援！Navi！」を8,000部作成し、市町村、図書館、経済団体、県の地域機関等で配布しました。



両立支援ハンドブック

(22) ぐんま県民カレッジ（生涯学習課）

主催講座の実施

県民の誰もが、自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、高校や専修学校・大学等さまざまな教育機関と連携して、多様な学習機会の提供を行った。

区 分	講座数	受講者数
地域の学校開放講座	18講座	260人
大学等出前講座「オープンキャンパス」	5講座	157人



「主催講座」実施風景

「県民企画型講座」の実施

企画提案者が講師となることを前提に、広く講座の企画を募集し、応募のあった中から選定した講師・講座内容を広く県民に周知し、3講座を実施した。

区 分	参加者数 (延べ)	開催時期・回数
災害時における乳幼児の健康を守るための備え ～赤ちゃんとお母さんに本当に必要な支援物資とは～	36人	23年 9月 (全1回)
映像で訪ねる「ぐんまの巨樹・古木」	14人	23年10月 (全1回)
人生を楽しむための笑顔・発声・飲み込み方トレーニング	114人	23年10月～11月 (全3回)